

## 大豆から食への理解を深める 食と農の体験スクール



東京農業大学による食と農の体験スクールは6月9日、飯豊小学校で行われ、児童30人を対象に開催されました。当日は、同大学の半杭真一准教授を講師に迎え、大豆の基礎知識や農作物の流通過程などの授業を行いました。児童らは、大豆の実の付き方や大豆食品などを学び、知識を深めていました。

※6月19日に、同校付近の畑で、児童らによる大豆の種まきが実施されました。

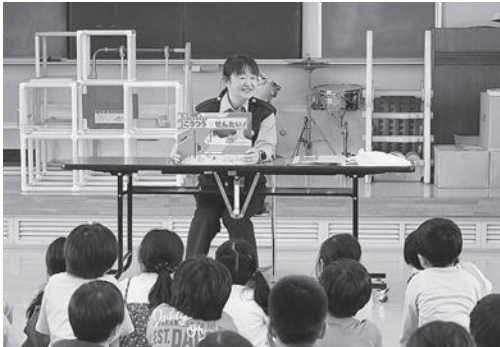
## 交通ルールをわかりやすく

### 川原町児童センター交通教室

川原町児童センター交通教室・防犯訓練は6月13日、同センターで開催され、中村第一小学校の児童約70人が参加しました。

当日は、相馬警察署の署員による紙芝居の上演や不審者の侵入を想定した防犯訓練などが行われました。

児童らは、紙芝居を通じて、交通ルールを守ることの大切さを、楽しみながら学びました。



## 震災復興の取り組みを学ぶまちづくり出前講座



まちづくり出前講座「相馬市の復興〜東日本大震災を乗り越えて〜」は6月15日、向陽中学校で行われ、同校3年生の生徒約100人が参加しました。

当日は、講師として訪れた市企画政策課の職員が、東日本大震災からの復興への取り組みについて、クイズを交えながら説明しました。

生徒らは、真剣な面持ちで説明を聞き、理解を深めていました。

## 五穀豊穡祈る相馬宇多郷の神楽舞

雷神社（坪田）の例大祭は6月18日に開かれ、市内5地区の保存会などが神楽を奉納しました。

神楽を奉納したのは、御手神楽台敬神会、岩子神楽保存会、瀧神社御手神楽保存会、原釜神楽保存会、日下石敬神会の5団体で、新型コロナウイルス感染症の影響により通常規模での開催は4年ぶり。神社を訪れた人たちは、次々と奉納される神楽に見入っていました。



## シートベルト着用を呼び掛け

### 街頭啓発活動

街頭啓発活動は6月20日、相馬復興市民市場「浜の駅川浦」の店舗入り口で行われ、市交通教育専門員ら約10人が参加しました。

同活動は、6月がシートベルト着用強化月間に当たるのに合わせ、シートベルトとチャイルドシートの正しい着用を啓発する目的で実施。

同専門員らは、全ての座席でシートベルトを着用することを呼び掛けるちらしや啓発品などを来店者に配布し、交通事故防止を呼び掛けました。



## 子どもたちへ適切な支援 要保護児童 対策地域協議会代表者会議



要保護児童対策地域協議会代表者会議は6月22日、市役所で開催され、相馬郡医師会などの代表者11人が出席しました。

当日は、会議に先立ち、阿部勝弘副市長から新たに委員に委嘱された小林邦彦・中学校長会代表ら3人に委嘱状が手渡されました。

会議では、必要な児童に確実に支援を届けるための取り組みや課題に関して意見交換が行われました。

## ブランド化で相馬の魅力をPR 「相馬ブランド」認定証交付式

「相馬ブランド」認定制度の認定証交付式は6月22日、千客万来館で開かれ、松川浦かけるあおさ（株式会社マルリフーズ）とアイスクャンデーいちごミルク（Sweetrap）が認定を受けました。

認定商品は、市や市観光協会、商工会議所などが協力し市内の店頭でPRするなど、「相馬ブランド」を市内外に広めていきます。



## 不審者の侵入に 備えて飯豊幼・ 小防犯訓練



飯豊幼稚園・小学校の防犯訓練および引き渡し訓練は6月23日、園児・児童226人を対象に行われました。

訓練は、不審者が昇降口から侵入した場合を想定し、市内小・中学校防災担当教諭の研修と併せた公開授業形式で実施。

不審者の侵入があった教室の児童らは、教職員の指示に従って避難しました。

訓練終了後に、園児・児童らは、迎えにきた保護者と一緒に下校し、親子で防犯への意識を高めました。

## 足立区からの支援に感謝 足立区青少年委員会

6月25日、足立区青少年委員ら約40人は、本市の東日本大震災からの復興状況を視察しました。

立谷市長は、東日本大震災での対応などを講演したほか、足立区からいただいた多くの支援に感謝の気持ちを述べました。

講演後、多島三好同委員会会長から市の青少年の健全育成に関する事業に対する支援として、立谷市長に寄付金が手渡されました。



## 大雨災害などに備える 市排水ポンプ車の合同訓練

市排水ポンプ車の合同訓練は6月28日、桑折町内の阿武隈川河川敷で行われ、関係者約60人が参加しました。

当日の訓練は、実践を想定した資機材の設置訓練、ポンプの運転操作訓練、最後に資機材の撤去訓練を実施しました。

市は、今後も市内での排水訓練を定期的に行い、大雨による市内の浸水の軽減や防止に努めます。



## 玉野地区の地域振興のために 包括的連携に関する協定



「相馬市と株式会社建設技術研究所及び株式会社C T I アセンドとの包括的連携に関する協定締結式」は6月30日、市役所で開催され、立谷市長らが協定書に署名しました。当協定は、株式会社C T I アセンドが玉野地区で子実トウモロコシ栽培とウイスキー製造・販売を主体とする事業を行うに当たり、市と2社が相互連携し、持続可能な社会の構築や地域振興を目指すことを目的としています。

## 相馬のリアルに触れる相馬行胤氏と行く相馬市モニターツアー

7月1日～2日、相馬行胤氏と行く相馬市モニターツアーが行われ、県外の観光客ら約20人が参加しました。2日間にわたり、釣り棧橋周辺での磯力ニ釣り体験のほか、相馬行胤さんの講演や浜焼き体験、馬陵公園で乗馬体験などが行われました。参加した観光客からは、相馬さんの講演に熱心に耳を傾け、カレイやイカの浜焼きに舌鼓を打ちました。



## 寄付ありがとう オリエンタル モーター



オリエンタルモーター株式会社の木村明宏相馬カンパニー執行役員社長ら2人は7月3日、市役所を訪れ、立谷市長に寄付金を手渡しました。同社は、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）として、「音楽による生きる力をはぐくむ事業」を支援。立谷市長は「ありがとうございます。いただいた寄付金は、子どもたちのために有効に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

## 手ごねのパン作りを学ぶ中央公民館

中央公民館「手づくりパン講座」は6月19日と7月3日の2日間、同公民館で開催され、市民ら延べ16人が受講しました。

当日は、荒井美紀子さんを講師に迎え、説明を受けながら、手ごねによる生地作り、発酵、成型の過程を体験し、あんパンとチーズパンを焼き上げました。参加した市民らは、焼きたての美味しいパンを試食し、幸せな時間を過ごしました。



## オリジナルの七夕飾りを作ろう

### 中央児童センター

中央児童センターおやこ教室は7月4日、同センターで開催され、親子13組28人が参加しました。

季節の行事を通して親子の触れ合いや保護者同士の交流を図ることを目的に同センターが主催。

参加した親子らは、音楽に合わせて元気に体操をした後、星型の色画用紙に願い事や絵を書いた手作りの七夕飾りを笹に飾り付け、一足早い七夕を楽しみました。



## 社会を明るくする運動

### ▽メッセージ伝達式



令和5年度の「社会を明るくする運動」メッセージ伝達式は7月3日、市役所で行われ、関係者ら17人が参加しました。

佐藤宏相馬地区保護司会相馬支部長らが内閣総理大臣のメッセージなどを読み上げ、立谷市長に手渡しました。

この運動は、全ての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生に理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動で、7月が強調月間です。

### ▽少年サッカー大会

「社会を明るくする運動」少年サッカー大会は7月2日、相馬光陽サッカー場で行われ、市内外から9チームが参加しました。

同大会は、小学校低学年を対象とし、8人制で試合が行われたもの。

選手たちはチームの仲間とボールをつないで、試合終了のホイッスルが鳴るまで一生懸命走り、保護者は選手たちのプレーに大きな声で熱い応援を送っていました。



### 国際大会の活躍を願うスポーツ大会出場報告



スポーツ大会出場報告は7月6日、市役所で行われ、国際大会に出場する岡田優月選手ら5人が立谷市長に報告しました。

選手らは少年軟式野球国際交流協会宮城支部から代表選手として選出され、7月18日から台湾で開催される国際大会に出場。

報告を受けた立谷市長は選手らを激励し、奨励金を手渡しました。

### 短冊に願いを込める

### おおのつくしんぼ教室

放課後子ども教室「おおのつくしんぼ教室」七夕の会は7月6日、大野小学校で開催され、13人の児童が参加しました。

当日は、願いごとを書いた短冊や折り紙で作った輪飾りなどを笹に飾りました。

児童らは、将来の夢や欲しい物など、それぞれの願いを短冊を込め、七夕の雰囲気を楽しんでいました。



## YouTube 相馬市 チャンネルからのお知らせ

トピックスの一部は、市公式 YouTube チャンネルで動画を公開しています。

下記の QR コードからアクセスし、ご覧ください。

▽食と農の体験スクール



▽相馬宇多郷の神楽舞



▽包括的連携に関する協定



▽相馬市モニターアー



▽手作りパン講座

